環境にやさしいエネルギー源（電力）の開発

米倉地帯としてのタバナンの維持とスバック世界文化遺産の保全を目的とした農業および観光事業活動の支援

タバナン県ー富山市および国際協力機構（JICA）による協力

OM SWASTYASTU　～神の恵みによっていつも平穏でありますように～

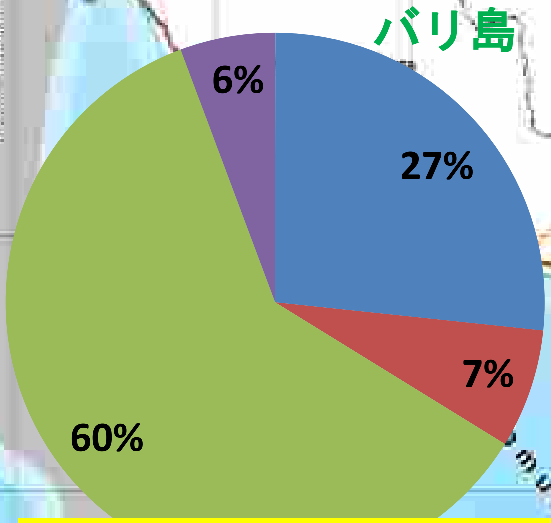
発表者

IR.I NYOMAN WIRNA ARIWANGSA MM

SEA4ALLフォーラム

2015年10月27～28日

地理学的条件および社会的条件



水田　27%
住宅地　7%
乾地農耕／森林 60%
その他 6%

総面積：

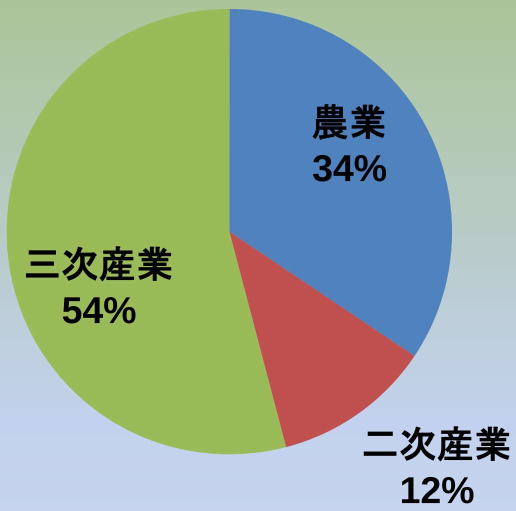
- ✓ 中心的な陸地：839.33 Km²
  （バリ島の14.90%）
- ✓ 海岸線：34.5 Km

行政

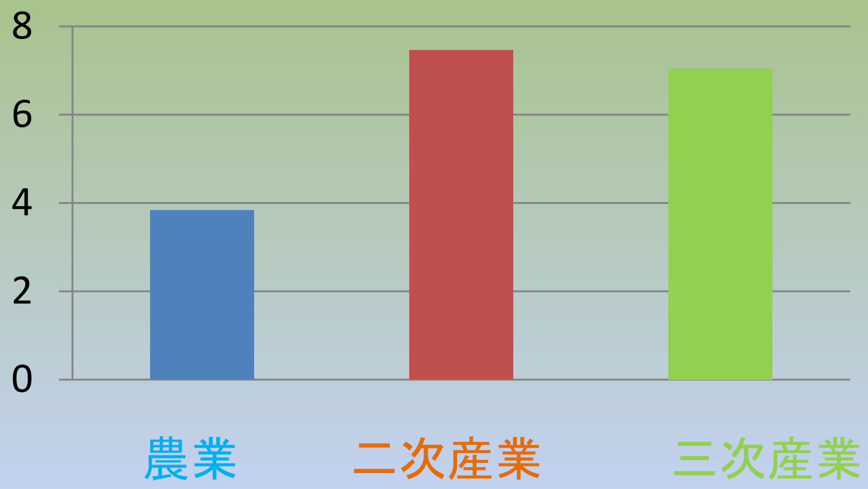
- ✓ 地区 ：10
- ✓ 村 ：133
- ✓ 慣習村 ：346
- ✓ 人口 ：441,900人
- ✓ 人口密度 ：526人／Km²
- ✓ 水田 ：228
- ✓ 乾地農耕地域 ：148

マクロ経済学的条件

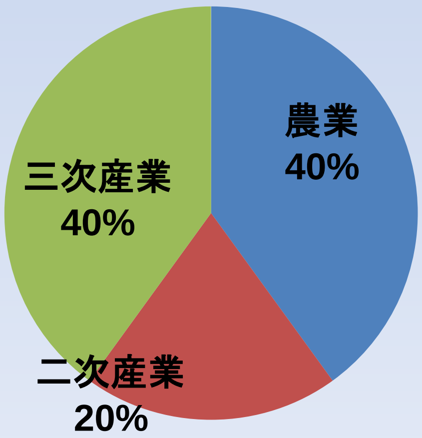
A.GDPの構成／タバナンの経済



C.過去7年間のGDP平均成長率



B.15歳以上の住民の生計手段構造



D.一人当たりのGDP14,271,000ルピア／1189.250ルピア（バリ9県のうち6位）

a.一次、二次、三次の経済構造における不均衡➔セクター間の相関関係の弱さを示す指標
b.現在も農業が主要な生計源。ただし、新戦力世代の関心は低い。c.農業成長は比較的低い（過去7年で平均3.83%）

開発プログラム

バリ州の展望と使命

タバナンの展望

タバナン地域社会の繁栄、安全、成功の実現
（TABANAN SERASI）

タバナン県の使命

1. 高いレベルの健康、知性、高潔なモラルを尊重するタバナン人を実現すること。
2. 天然資源と環境の持続可能性をベースに、タバナン地域社会の経済を強化すること。
3. タバナンのバリの米倉地帯としての地位を強化すること。
4. 地域の文化を保全し、発達させること。
5. 公共サービスに対する適正かつクリーンなガバナンスを強化すること。

現場の優先事項

1. 教育と衛生
2. 地域社会の経済と環境保全
3. 農業
4. 文化
5. 人的資源

FOKOUS PEMBANGUNAN

1. ホームプログラムの再活性化を通じた貧困の削減
2. 医療サービスへのアクセスと質の改善
3. 小規模産業、観光事業、零細および中小規模企業の競争性の改善と、潜在的な地域特性の改善に向けた協力
4. アグロポリタンとしてのタバナンを志向した農業および食糧安定供給の強化
5. 投資と経済成長を支援するための社会基盤開発の改善

実験的提携の適用範囲

水稲栽培面積：21.962 Ha
割合：バリ全体で25%

作付面積 ：38.156
生産：
乾物籾：223.460
生産量（ku/Ha）58,07
米生産量：136.420
米の消費量：56.329,00トン
余剰米：80.091

農業に関する課題
1. 世界規模の気候変動
2. 土地の変化
3. 一般の人々の態度における変化
4. 従来の農家の行動

灌漑
河川　82
灌漑用水路　106.078 km
194の灌漑区域に分割

農業におけるメカニズム
環境にやさしい電力を基盤とするツールや農業システム（富山市およびJICAとの協力）

世界文化遺産であるスバックの保全と観光事業

発電所の労働力に関する政策
十分な数、優れた質、実質的な価格での発電所労働者の確保を保証すること。